

24時間対応体制加算について

当ステーションは、
緊急訪問などに備え「24時間緊急体制」をとっています。

令和6年6月1日 厚生労働省 にて 法改正より
「24時間対応体制加算」の
看護師等の働き方改革及び、持続可能な24時間対応体制の確保

- 24時間体制における看護業務の負担軽減の取組を行っています。
- ・夜間対応した翌日の勤務時間の確保
 - ・夜間対応に関する勤務の連続回数が2連続(2回)まで
 - ・夜間対応後の暦日の休日確保
 - ・夜間勤務のニーズを踏まえた勤務体制の工夫
 - ・ICT、AI、IoT等の活用による業務負担軽減
 - ・電話等による連絡及び相談を担当する者に対する支援体制の確保





れんげ訪問看護ステーション 24時間体制 オンコール緊急電話対応マニュアル

2024年5月

①オンコールとは

平日：業務終了時間 17：30～翌 8：30 / 土日：終日 利用者さんまたはご家族からの電話対応
電話での相談で対応できる場合もありますし、緊急で訪問が必要な場合もあります。

社用代表電話 052-792-7752



②オンコール担当する際の事前準備

- (1)事前の家族の連絡先や本人の意思を確認しておく。救急車のように早く来れない事を伝えておく。
- (2)情報収集が肝！医療機器を使用している方や日中から体調が不安定である方、転倒リスクの高い状況にある方、退院直後である方など 事前に把握。
- (3)部品の補充 (4)飲酒は控え、不要な外出の予定は組まないようにします。

③視聴する内容

・利用者さんの名前(フルネーム)・電話している人は誰か・現在の状況・本人の意識があるか・本人の訴え(疼痛、呼吸苦、嘔気嘔吐、外傷など)・いつから症状が出現したか・現在どのような状態で連絡しているか(ベッドに臥床している、床に倒れているなど) →Dr 報告へ 緊急で往診か？緊急搬送か

④ ③の情報収集ができれば、緊急訪問が必要か、電話での対応でその後が安全に過ごせるかを判断します。

⑤電話対応の際のポイント

・具体的な情報収集を行う・現状起きている事象を説明する・ご家族に対処を依頼する場合、介護力、理解力に合わせた説明をする
・今後起こりうるリスクを説明する・再度連絡が必要となるラインをお伝えする・時間をおいて状態確認をする・主治医へ一連の対応とその後の経過を報告する・意識レベルの低下や呼吸停止などの急を要する内容であれば、すぐに緊急要請をしていただくよう伝える

⑥緊急訪問の際のポイント

・どの程度の時間で到着するかお伝えする・到着までに行っていたきたい対処をお伝えする・必要な場合にはご家族に緊急要請をしていただく・到着したら全身状態を観察し主治医へ報告する・主治医の指示に従って対応し、その後の経過を報告する・緊急搬送の手順を確認しておく
→緊急電話が重なる場合は、所長に応援を依頼する。搬送後サマリーFAX 救急隊員への情報提供(バイタルなど) 死が予測される場合のご家族への説明 アセスメントした事を伝える。ケアマネさん・ご家族へ説明し、報告する。